

# Fourth

- 桂ゴルフ倶楽部 北海道 R.T.ジョーンズJr./平成5年
- 北海道ブルックスカントリー倶楽部 北海道 川田太三+Eスコード/平成4年
- メイプルカントリー倶楽部★ 岩手県 金田武明/昭和62年
- 紫雲ゴルフ倶楽部(加治川)★ 新潟県 藤田欽哉/昭和40年
- 太平洋クラブ&アソシエイツ益子 栃木県 加藤俊輔/昭和51年
- ニューセント・アンドリウスゴルフクラブ・ジャパン 栃木県 J・ニコラス/昭和50年
- ハウライカントリー倶楽部 栃木県 R・V・ヘギー/平成2年
- 霞ヶ浦国際ゴルフコース 茨城県 赤星四郎/昭和35年
- イーグルポイントゴルフクラブ 茨城県 川田太三/平成11年
- オールドオーチャードゴルフクラブ 茨城県 ジム・ファジオ/平成4年
- 筑波カントリー倶楽部 茨城県 佐藤昌/昭和34年
- 東松山カントリー倶楽部 埼玉県 藤田欽哉/昭和38年
- 嵐山カントリー倶楽部 埼玉県 小寺西二/昭和37年
- 成田ゴルフ倶楽部 千葉県 川田太三/昭和63年
- 総武カントリー倶楽部(総武) 千葉県 富沢誠造/昭和39年
- キングフィールズゴルフクラブ 千葉県 ベンツ&ポレット/昭和60年/大久保昌(改造)
- 小金井カントリー倶楽部 東京都 W・ヘーゲン/昭和12年
- 湘南カントリー倶楽部 神奈川県 井上誠一/昭和36年
- 浜松シーサイドゴルフ倶楽部 静岡県 福田富市/昭和41年

- 富士カントリー倶楽部 静岡県 赤星四郎/昭和33年
- 天城高原ゴルフコース 静岡県 井上誠一/昭和40年
- 河口湖カントリー倶楽部 山梨県 R・V・ヘギー/昭和52年
- 鳴沢ゴルフ倶楽部 山梨県 塩田勇昭+Bジョーンズ(監修)平成5年
- メイプルポイントゴルフ倶楽部 山梨県 ビート・ダイ/平成6年
- ザ・トラディションゴルフ倶楽部 愛知県 J・ニコラス/平成14年
- 岐阜カントリー倶楽部 岐阜県 上田治/昭和35年
- スプリングフィールドゴルフ倶楽部 岐阜県 R.T.ジョーンズJr./昭和62年
- スリーレイクスカントリー倶楽部 三重県 P・トムソン/昭和52年
- 大阪ゴルフ倶楽部 大阪府 上田治+松山桂司/昭和12年
- ABCゴルフ倶楽部 兵庫県 鈴木正一+佐藤健/昭和60年
- ザ・サイプレスゴルフ倶楽部★ 兵庫県 大西久光/平成3年
- 東広野ゴルフ倶楽部 兵庫県 小林祐吉+乾豊彦(監修)/平成元年
- 六甲国際ゴルフ倶楽部(東+中) 兵庫県 加藤福一/昭和50年
- 宝塚ゴルフ倶楽部(OLD) 兵庫県 福井覚治+広岡久右衛門/大正15年
- 西宮カントリー倶楽部 兵庫県 井上誠一/昭和30年
- 備中高原北房カントリー倶楽部 岡山県 石見満寿夫/平成2年
- 玄海ゴルフ倶楽部 福岡県 関西プロゴルフ協会/昭和38年
- くまもと阿蘇カントリー倶楽部(湯の谷) 熊本県 保田与天+井上誠一(監修)/昭和27年
- いぶすきゴルフ倶楽部 鹿児島県 井上誠一/昭和43年
- ザ・サザンリンクスゴルフ倶楽部★ 沖縄県 琉球リゾート/昭和63年

**くまもと阿蘇カントリー倶楽部**  
湯の谷コース 6487Yards Par72  
雄大な阿蘇の景観といひ手造りコースのダイナミックさといひ、印象度ははずば抜けている。ランクインしたのは、パネリストの見識だろう。④

**玄海ゴルフ倶楽部**  
7011Yards Par72  
眼前に玄界灘、右手に湯川山を望む絶好のロケーション。関西のプロの共作ハイブリッド設計だが違和感はない。豊かな戦略性のクラシック。④

**琵琶湖カントリー倶楽部**  
栗東十三上コース 7085Yards Pa72  
フラットな松林に展開する27ホール。多くの競技を開催し、今年日本女子オープンに記憶に新しい。三上コースはバンカーが立ちふさがり。④

**浜松シーサイドゴルフ倶楽部**  
6748Yards Par72  
開場から半世紀にしてクラブハウスも運営もアメリカ風でモダン。シーサイドというより巨大な鮫島池を巡る水辺のルートプランが秀逸。④

**筑波カントリー倶楽部**  
7055Yards Par72  
造園家・佐藤昌の設計だけに、広くフラットなコースに花木がアクセントになる。ゲーム上の演出は少ないものの、何度回っても飽きない。④

## 部門別 ベストコースに参加ませんか。

チョイス『日本のベスト100コース選考委員会』では新企画として、以下の部門別ベストコースに、皆様のご意見をお待ちしております。

- ベスト9Hコース(18ホールに勝る凝縮したプレーの醍醐味あり!)
- ベストクラブハウス(建築、居心地、食事、サービスならココ!)
- ベストホール(コース総合評価はともかく、このホールはイチバン!)

投稿/〒105-8670 東京都港区新橋6-18-5  
eメール/choice.best100@golf-digest.co.jp  
ゴルフダイジェストチョイス  
『日本のベスト100コース選考委員会』



## 紫雲ゴルフ倶楽部

加治川コース 6621Yards Par72  
日本海に注ぐ加治川河口のシーサイドコース。コース設計の藤田欽哉の作風は、松林の自然の演出が見事。④

唱えたパネリストはいない。30年間、誰ひとりいなかった。ランク上位にあるモダンアメリカンコースも、圧倒的に支持されるどころがいくつもある。減点材料がないのだ。バブル期から20数年経過すれば、堂々たる風格も漂う。ただし、ここは日本であってハワイでもフロリダでもない。アリスンの偉大さは、龍安寺の石庭や桂離宮で日本の美を学び、スコットランドを輸入しなかったところにある。ジャック・ニコラスが神戸GCCに感動したように、日本のトップ100ゴルフコースは、世界に劣るところなどないのだ。

**30年間、廣野GCが王座に君臨し続けた理由**  
選考経過の報告に戻ろう。チョイスは各地区のパネリストのコース評価能力を尊重して、選ぶ基準としている。それで単にランクするのではなく、全国のゴルフファーマーがどんなコースを好んでいるかを、読者に伝えることも大切に考えている。

かつてはこんな極論もあった。「関東、中部、兵庫だけでベスト100を独占してしまうかもしれない」と。あえて兵庫として関西としないのは京都、奈良、和歌山からのランクインがないからだ。傑作がないからではないだろう。声なき声とでもいうか、地元の人々も、選考委員は足を運ぶ。中国山地に孤立する備中高原北房CCへも、盛岡郊外のメイプルCCへも、選考委員は足を運ぶ。ちなみにメイプルCCはかつてのオーガスタシヨナルGCに似た面影は薄れ、ブナ林に飲み込まれそうな様相だった。それもまた東北の逞しい生命力であろう。

もうひとつ、避けて通れない課題がある。コースを決定づける骨格として、ジャパニーズクラシックとモダンアメリカンに二分される。どちらの設計理念をベースにするか、実は選考委員会でも方向性は示していない。食事や結婚式は和風あり洋風あり、宗教は神社仏閣・神仏なんでもあり。ゴルフコースに限って優秀だの指向は決められない。このファジーさこそ、日本人の持つと優れた特性ではないか。現在、ゴルフを楽しむ大地では、縄文人と弥生人が平和に共存していたのだ。棒切れでクルミを打つゴルフの先祖だっていたはずだ。話を戻して、ジャパニーズクラシックの源流は東京GC(朝霞)、川奈ホテルGC、そして廣野GCを設計し、また多くの改造アドバイスをしたC・H・アリスンに端を発する。それに続く第2、第3の日本人コース設計家も多くの傑作を造っている。今回もまた廣野GCのトップ10評価に異議を

のものが自然には成長せずに奇形化してしまう。暗いジャングルの森でのプレーよりも、木漏れ日を浴びての林の散策を楽しみたいものだ。  
あるグリーンキーパーの嘆きも記しておこう。  
「樹木を守るためにも間伐は必要です。木魂の声も毎日聞いています。ただ枝払いの高所作業車がいない、樹の捨て場がない、植木屋の親方に頼む予算もない。そんな悩みを知らず、会員が新たな植栽を指示したり……」

地で、追いつめられた島民がこの崖から身を投げた悲劇を、決して忘れてはならない。  
私たちは、日本のトップ100を選考しつつ、日本を考えているようだ。また自然を愛しているのかもしれない。大地に刻まれたアートには、やはり魔力が秘められているのだろう。

山本理哉さん 広島CC八本松は幼少期から知るコースで、最近まではよく知るが故に平凡と思って評価しなかった。しかし上田治氏らしい設計とメンテナンスは特筆すべきと考えた。日本人だけが知らないが(いや私だけかも)、グリーンが悪いとどんなにいいコースでも、がっかりしてしまふ。

## パネリスト注目のコース

- ザ・ノースCC(北海道) ●グランディ那須白河GC(福島県) ●ジュンクラシックCC(栃木県) ●グリッサンドGC(千葉県) ●袖ヶ浦CC新袖(千葉県) ●富士OGMGC市原(千葉県) ●富士GC山中湖畔(山梨県) ●富士クラシック(山梨県) ●グランフィールズCC(静岡県) ●東名古屋CC(愛知県) ●COCOPA RESORT CLUB 白山ヴェレージGC(三重県) ●セントレイクスGC(三重県) ●涼仙GC(三重県) ●ジャパンエースGC(滋賀県) ●タラオCC(滋賀県) ●奈良国際GC(奈良県) ●小野グランドCC(兵庫県) ●ジャパンメモリアルGC(兵庫県) ●リージャスクレストGCロイヤル(広島県) ●新居浜CC(愛媛県) ●ザ・クィーンズヒルGC(福岡県) ●門司GC(福岡県) ●唐津GC(佐賀県) ●若木GC(大分県) ●宮崎CC青島(宮崎県)

**渡辺尚さん** 私は長年、マートルビーチ(SC州)で行われる「WAHC」に出場してきました。4日間プレーオフの大きな競技は地域振興を含め、ゴルフの楽しさを教えてくれます。日本でも参考になると思います。(WAHC IIワールド・アマチュア・ハンディキャップ・チャンピオンシップHP参照)

**山本理哉さん** 広島CC八本松は幼少期から知るコースで、最近まではよく知るが故に平凡と思って評価しなかった。しかし上田治氏らしい設計とメンテナンスは特筆すべきと考えた。日本人だけが知らないが(いや私だけかも)、グリーンが悪いとどんなにいいコースでも、がっかりしてしまふ。

**村上宏貴さん** 開場までの歴史や関わった人々の話を知ることで、コースを見る目が変わったりする。ランクづけは実に楽しい。もっと勉強します。  
**望月誠之さん** 異例ランキングも良いのでは? このコースなら行ってみたいと思うプレーヤーが増えると思うのでいいです。

※横浜CC(西)はコース改造中のため選考対象外